

内水面漁業総合総合対策研究－Ⅰ

(内水面魚病総合対策事業：魚介類の異常へい死)

村田圭助・田原義雄・平江多績・村瀬拓也

【目 的】

県下の漁場環境下（内水面の漁業権区域）で発生する魚介類の異常へい死事故の原因究明を行い、漁場環境保全の対策・対応を指導する。

【方 法】

へい死事故発生現場の状況について、聞き取り等の調査を実施した。

また搬入されたへい死魚体については魚病検査を、また魚体及び河川水については農薬成分等の抽出を行った後、ガスクロマトグラフ質量分析計による残留農薬スクリーニングを行って、へい死原因調査を実施した。

【結 果】

今年度は2件のへい死事故が発生し、その調査結果は表1のとおりで、農薬やへい死に至る病原菌、寄生虫は検出されず、いずれも原因は不明であった。

表1 異常へい死事故の原因調査結果

発生年月日	依頼項目	対 応	調査結果
H20.05.26	霧島市牧園町石坂川における魚のへい死	残留農薬分析＋魚病検査を実施	原因不明
H20.06.02	さつま町鶴田ダム湖におけるヘラブナへのい死	魚病検査を実施	原因不明